

年度初めに多いお問い合わせのご紹介

人事異動や新しいIT機器の導入など、新年度はお客様のオフィス環境にも変化がある時期と存じます。本記事では、年度初めにサービスデスクへ多くいただくお問い合わせ内容をご紹介いたします。

年度初めに多いお問い合わせ① 「PCご利用者の変更」



年度末に退職した社員のPCを新入社員に使ってもらう予定である。

どんなことに留意したらよいだろうか？

お客様

退職された従業員様のPC情報が「きちんと削除されているか」が大切です。

ご利用者様が変わるPCについてはPCの初期化をおすすめいたしますが、

初期化が難しい場合は下記の内容に注意します。

【PC情報の変更】

・ PC名の確認・変更

PC名が個人を特定する名称（苗字など）で設定されている場合は、新しいご利用者様のものに変更します。PC名のご確認・ご変更はWindowsアイコンを右クリック>[システム]より行えます。

・ ログインユーザー名・パスワードの確認

前のご利用者様しか分からないログイン情報であったために、他の方がPCを利用できず仕方なく初期化した..という事例もございます。
使用するPCには、新しいご利用者様とは別に「管理用のユーザー」を事前に設けておき、上記状況を未然に防ぐことも大切です。

【メール関連】

- ・メールアドレスの無効化/削除、メールボックスの削除
 - Outlookをご利用の場合は、コントロールパネルよりプロファイルの削除をおすすめいたします。
 - 前のご利用者様のメールデータを残し、他のユーザーが参照できるようになるケースもございます。



オペレータ

【Microsoft 365 / Office関連】

- ・Word・Excelなどを起動すると、画面右上にサインインしているユーザー名が表示されます。
ここに退職された方のお名前/情報が残らないよう、必ず「サインアウト」を済ませてから当該ユーザーを削除してください。



年度初めに多いお問い合わせ②「長期間稼働していなかったPCの利用」



予備機として保管していたPCを新たに業務用に利用したい。
利用を開始する前に注意することはあるか？

長期間稼働していなかったPCは、以下のものが未適用/古い状態です。

- ・Windows Update（セキュリティ更新プログラム）
- ・Feature Update（OSバージョン）
- ・セキュリティソフトのウイルス定義ファイル/エンジン

PCがインターネットに接続できる状態になると、これらを最新の状態にすべく自動的にプログラムのアップデートが行われます。

「設定」>セキュリティ」の「Windows Update」画面にて、ダウンロード/インストールの進捗を確認することができます。



パソコンの動作がなんだか急に遅くなったり、
何か問題が発生しているのだろうか？

PCを最新の状態にするために必要なアップデートの中でも、Windows Updateは毎月第2水曜日または第3水曜日にマイクロソフト株式会社より公開され、順次自動的に適用されます。

それに伴い、PCの動作が一時的に遅くなったり、サインイン後に画面が真っ暗でデスクトップが完全に表示されるまでに時間が掛かる場合がございます。

本症状が発生している場合は、アップデートが完了するまでそのまましばらくお待ちください。

またPCの再起動をもって適用が完了するものもあるため、タイミングの良い時にPCの再起動を行うことで動作が改善することが多くあります。



年度初めに多いお問い合わせ③「PCのデータ移行」



新しいPCが貸与されたのだが、今まで使っていたPCのデータを新PCに移行したい。何か方法はあるか？

【OneDriveを利用する方法】

OneDriveはクラウド上のストレージ（データ保管領域）です。

今までお使いのPCからOneDriveにデータをコピーしておき、新PCにて同じアカウントでOneDriveにサインインしてデータを取得することができます。

【NAS・ファイルサーバーを利用する方法】

お客様環境に企業のデータを保管するNAS・ファイルサーバーなどの環境がある場合はその場所に一時的に退避し、新しいPCから再度共有フォルダーにアクセスし、コピーしたデータを移動することも可能です。

